

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可
二〇一八年五月十八日発行(毎月十八回)一、二、三、五、六、七の日発行
SSKP増刊通巻第六八九一号

SSKP



Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～

No.65 2018年(平成30年)5月20日

社会福祉法人 愛光
 発行人 法澤 奉典
 編集人 広報委員会
 〒285-0807千葉県佐倉市山王2-37-9
 TEL.043-484-6391
 FAX.043-484-6396

E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp
 U R L http://www.rc-aikoh.or.jp
 印刷：ワークショップかぶらぎ

【特集】愛光は『子ども食堂』を応援します！！



「おいしい!」「楽しい!」

子どもも大人も良い笑顔(子ども食堂)

—CONTENTS—

愛光は『子ども食堂』を応援します！！・・・2～3P
 愛光の財産～職員実践発表会～・・・4P
 アクティ部！愛光／にやりほっと・・・5P
 日誌抄録・感謝のコーナー・・・6P
 愛の灯台基金だより・・・7P

QRコードから
愛光ホームページを
ご覧いただけます。
＜スマートフォン対応＞



最新情報を
随時配信中！

愛光は『子ども食堂』を応援します!!



「子ども食堂」が、最近話題になっているのをご存じでしょうか。地域交流の場として、また子どもの見守りの場として期待され、全国では2,200ヶ所超が設置されているようです。

佐倉市根郷地区では、ボランティアグループ「ねっこの会」や「むぎの会」等を中心として、子どもたちの学習支援、居場所づくりを行ってきましたが、本年度より「ねっこ食堂」として、月1回程度で開催されます。その様子をレポートします。

3/23(金)佐倉市の根郷公民館3階にて開催された「ねっこ食堂」のプレオープンにおじゃましました!当日の様子を知るべく、私たち取材陣は開始1時間前に訪問!

キッチンではボランティアの方々食材を並べられ、準備に取り掛かっていました。せっかくなので私たちもお手伝いをさせて頂きながら、スタッフにお話を伺ってみました。



・子ども食堂の運営に関わっていると、みんな自分の子どものような気持ちになります。卒業式で晴れ姿を見かけた時は、思わず涙が出ました。

・ボランティアさんには色々な世代の人に来てもらいたい。子どもの遊び相手として、男の人也大歓迎です。



16時を過ぎると、子どもたちが増えてきました。小学生から高校生、ご高齢の方まで20名近く見られます。兄弟姉妹、友人同士など、客層も様々です。参加した小・中学生に聞いてみました!



Q.今日のメニューで一番おいしかった物は?
A.ハンバーグ(複数名)、スープ(おかわりしています)、ロールケーキ(女子は大好き)

Q.次回のリクエストメニューは?
A.ポテト・唐揚げ(複数名)、ピザやオムソバなんて意見も!

Q.今後みんなでやってみたいことは?
A.くじ引き・ビンゴ

Q.またあったら参加したいですか?
A.(笑顔で即答)はい!!

今こそ地域のつながりを(ねっこ食堂・小林代表)

「ねっこ食堂」は、学習支援を行っている「ねっこの会」の子どもたちが夕方になるとおなかをすかせてしまうため、食事を用意しようという思いから始まりました。

学習支援と子ども食堂を組み合わせることによって、「ねっこの会」の子どもだけでなく、友だちや家族も気軽に集える場所にしていきたいと思っています。

「ねっこ食堂」の運営には「むぎの会」をはじめ地域の方々が大勢関わって下さっています。子どもたちの居場所づくりと同時に、それを支える地域住民やボランティアの連携、地域のコミュニティづくりこそが大切だと考えています。



学習支援は、子どもの学力や進路等で格差が生じないよう又学習意欲や基礎学力の向上を促すことを目的に始められました。「ねっこの会」の学習支援について聞いてみると・・・



「スタッフの方や、友だちとのおしゃべりが楽しみ。」
「自分のペースで勉強ができるからいい。」
「暇だから来た。」

と、「ねっこの会」について答える中学生のみなさん。
「ねっこの会」には、子どもたちが様々な思いを抱えてやって来ます。スタッフの方は子どもたちにいつでも笑顔で声を掛け、優しく見守っています。



「ねっこ食堂」が終わり、帰り支度をしている中学生に「試験前にまたおいで。なんにもなくてもまたおいで。」と、声を掛けていました。「うん。」と答える中学生の姿を見て、子どもたちにとって「ねっこの会」は、ほっとできる居心地のいい居場所であることが分かりました。

今後の地域共生社会の実現・取り組みについて

「共に支える 共に生きる～地域包括ケアの深化へ～」

これは2019年度までの愛光のスローガンです。地域共生社会の目的は、多様な人たちが地域で暮らし、それらの人たちが孤立せず、豊かに暮らすことができるように顔が見える関係を築き、地域を活性化していくことです。それには、地域包括ケアシステムを深化していくことが必要です。その深化とは高齢者ケアだけでなく、障害のある人も、児童も、その親たちも含んだものとなります。世代を超えた地域の課題を地域の方々と一緒に語り合い、必要な資源を考え地域と協働して解決する。そんな地域福祉を目指していきたいと考えます。子ども食堂についても、地域の方と相互に役割を持ちながら、支援していきたいと思えます。

(愛光総括施設長西原弘明)

愛光の財産 ～第7回職員実践発表会～

3月4日、毎年恒例の実践発表会が、はちす苑千田ホールで開催されました。法人内の事業所で抱えている課題解決や業務改善、利用者のサービス向上に向けた取り組みなど職員の自主的な発表会として実施、本年で7回目になります。

この実践発表会は、法人事業の理解や地域福祉の観点から、地域の方や福祉を目指す学生の方々にも案内し、参加いただいています。今回は、6事業所から発表があり、発表後の質疑応答では暖かい言葉や鋭い視点からの質問もありました。最後に審査発表があり、最優秀賞1題、優秀賞2題が選ばれました。



<各事業所発表内容>

- ①「七転び八起きの日中活動～支援学校を卒業した新規利用者支援を通して～」(根郷通所センター)
- ②「スッキリバナナ～便秘改善への試み」(ルミエール)
- ③【最優秀賞】「職員の意識への働きかけ～利用者の生の声から気づくために～」(リホープ)
- ④「支援の在り方についての考察～べてるの家訪問と実践～」(ワークショップかぶらぎ)
- ⑤【優秀賞】「美味(うめ)え、からし菜食わしてやるよお～U様の事例を通して～」(はちす苑)
- ⑥【優秀賞】「地域のニーズに応える～児童センターの変革・4年間の軌跡～」(佐倉市南部児童センター)

今回は、最優秀賞に選ばれた「リホープ」の発表者に感想を聞きました。

<リホープ 吉田伸作>

“利用者の発した本音を施設内だけに留めておくのはもったいない”と思ったことが実践発表に取り組みきっかけとなりました。施設で生活されている方たちは、少なくとも何かしらの不満や不安を持っている可能性があり、権利擁護の観点からもそれを代弁・理解しようとするのが私たち職員の役割だと思います。“利用者目線”でより深いニーズをくみ取ることができるよう私自身もこれからも考えていきたいと思っています。



<リホープ 森貴裕>

利用者に対する職員の言葉づかいや配慮などで、「利用者の生の声を聞く」という、リホープ独自の方法で実践できたことは大きいと思います。この実践を通して、少しでも利用者の本音の部分が見えたことは、今後のリホープをさらにより良い施設になることに繋がると思います。利用者の言葉を真摯に受け止めて取り組んでいきたいと思っています。

<リホープ 佐原麻美>

発表内容は複雑なテーマでしたが、日々の業務、支援に慣れてきたこの時期に深く触れ、向き合えるきっかけになりました。リホープが利用者にとってより良い環境になるにはどうすればいいのか考え続けていきたいです。



笑顔はな咲くいこいの場(はちす苑)

はちす苑にある“れんげ亭”は、1杯30円でコーヒーを楽しむことができる喫茶コーナーで、利用者様や職員に人気の場所です。

ショートステイで出会われて、友人となったお二人も連れだってれんげ亭を利用されています。

「ここに来るのが好きで、お相手を見つけて一緒にきてる」「雰囲気やわらかくてとってもいい。普段どこにも出かけられないから、喫茶店気分を味わえて楽しい」と、コーヒータイムをしながらのおしゃべりを楽しまれる中で、ますます仲良くなることができましたそうです。

今日もはちす苑の一角は、れんげの花がひらくように、笑顔がはなやぐ場所となっています。



アクティ部！愛光

日本の果てまで！？～愛光ゆるゆる登山部～

ゆるゆる登山部は、自然をこよなく愛するメンバーが集い、のんびり山歩きをしています。ガツガツと山頂をめざすピークハントではなく、景色や山でのごはんを楽しみながらゆる～く登るスタイル。普通の人では日帰りでも、あえて1泊！それは山で夕陽や満天の星空を見たいから(山小屋でお酒が飲みたいからとの話も?)。山頂から下界の花火大会を3大会同時に見下ろしたこともあり。登る山も徐々にレベルが上がっており、昨年は長野県の唐松岳(標高2696m)の登頂を果たしました。いつか日本の果てまでイッテみたい… あなたも一緒にしませんか？

▲主な登山履歴▲

つばき 燕岳 赤岳(ハケ岳) 木曾駒ヶ岳 ひなた 日向山(南アルプス) 筑波山 御岳山 …など



唐松岳頂上小屋を望む



山頂でご来光を拝みました



山小屋から眺めた夕陽

福祉の名語録

『お母さんは、大好きです』

くその子は、小学校の特殊学級に通うようになった時、障害児の手当や手帳を受けるために必要な医師の診断を受けた。その検査の中で医師が、

「お父さんは男です。お母さんは？」

と問う質問があった。だれしも、

「女です」

と答えるだろうし、母親も自然にそう思った。ところが、その子の答えは意表をつくものだった。迷うことなく、大きな声でこう答えたのだ。

「お母さんは、大好きです！」

なんと素晴らしい答えかと、私は感動してしまったのだ。母親も、子どもが見かけの知識でなく、子どもにとっての母親の本質を言ってくれたことがうれしくて、胸が一杯になったという。

診断の結果は「IQ37」という数字で示されたが、母親にとってIQのレベルなどは二の次だった。

IQ37の世界って実はとっても素敵で優しくて、あったかい世界なんだと思ったという。母親のそういう受けとめ方も素晴らしい>

これはノンフィクション作家・柳田邦男さんの著作からの引用です。いまの世の中は人を能力によってその優劣を判断する考えが支配しています。しかし学業優秀で仕事の面でも業績を上げるのが人に最も必要な能力でしょうか。むしろ「人を愛する能力」こそが、ほんとうに大切に必要能力ではないかと、そう語っていた先輩の話も思い出しました。

(法澤 奉典・のりざわ ともり)

感謝のコーナー (2017.7 ~ 2017.11)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】穴見玲子、東原千恵子、高橋トシユ、中山安子、宮嶋としえ、松籟会 山岸洋子、森野ただし、吉野智、(株)アイ・ディー・エイ・システム 長田研自

【団体】リホープ家族会、愛の灯台基金、地域福祉センター自力整体教室

日誌抄録

(2017.12.1 ~ 2018.3.31)

(本)法人本部 (後)愛光後援会「愛の灯台基金」(ル)ルミエール (め)めいわ (リ)リホープ (は)はちす苑 (根)根郷通所センター (よ)よもぎの園 (か)ワークショップかぶらぎ (ジ)ジヨウの家 (ア)生活支援センターアシスト (包)南部地域包括支援センター (児)児童センター・学童保育 (地)南部地域福祉センター

12月

- 1日 法人研修(誤投薬防止)
- 1~2日 1泊旅行(め)
- 2日 理事会
- 2日 宮前ローズタウン交流会(よ)
- 6日 テーナ排泄研修(は)
- 7日 さわやか芸能発表会(め・根)
- 7日 合同防災訓練(南)
- 8日 根郷小学校まちたんけん来訪(児)
- 10日 評議員会
- 10日 ニューリパーマラソン(め・ル・リ)
- 12日 法人研修「介護マイスター養成講座」
- 15日 内定職員施設見学
- 16日 佐倉中学校職場体験(児)
- 24日 クリスマス会(ル・め)
- 24日 忘年会(は)
- 28日 忘年会(よ・か)

1月

- 12日 法人合同新年会
- 12日 とつぜん音楽会(ル)
- 16日 小学生書初め展佐倉市長来訪(児)
- 18日 身体拘束廃止研修(は)
- 18日 法人研修「メンター情報交流会」
- 24日 東京都監査(め)
- 25日 法人研修リスクマネージャー養成研修
- 27日 理事会
- 29日 第三者評価機関報告会(ル)

2月

- 1日 愛光・千視協グループ法人協議会
- 4日 山王自治会清掃参加(リ・山)
- 5日 ミニコミュニケーションワーク研修(か)
- 13日 山王小学校福祉学習(リ)
- 13日 千葉県身体障害者施設協議会スポーツ大会(ル)
- 14日 ボランティア地域デビュー講座
- 15日 法人研修「介護マイスター養成研修」
- 23日 職員研修(リーダー研修)
- 24日 Aikoh フォーラム『使おう！成年後見制度』(地)
- 24日 小学生バス遠足(児)

3月

- 2日 JAZZ お楽しみ演奏会(は)
- 4日 第7回愛光実践発表会
- 8日 口腔ケア(ル)
- 9日 大地震想定防災訓練(本)
- 10日 日中活動そごう販売会(根)
- 10日 千視協社会福祉法人設立記念式
- 13日 介護保険セミナー(は)
- 13日 防災訓練(よ)
- 15日 やよい会(め)
- 16日 リスクマネージャー育成研修
- 17日 理事会
- 22日 Aikoh ふくしまルシェ(は・包)
- 25日 評議員会
- 26日 法人墓地・創立者墓地墓参
- 28日 日帰り外出いちご狩り(は)
- 30日 退職辞令交付式
- 31日 佐倉ふるさと広場販売(根)



愛光後援会

愛の灯台基金だより

作:めいわ利用者

あひとひかりのコンサート 2018 ダ・カーポ



平成30年4月21日(土) 14:00~15:30
四街道市文化センター 大ホール

当日は急激に暑くなる、との天気予報があり、会場内の温度を心配しながらの開演を迎えました。会場の四街道市文化センターには、開演の1時間位前より多くのお客様が長蛇の列を作り、熱気に包まれました。

「こんにちは赤ちゃん」「野に咲く花のように」「結婚するって本当ですか」など、TVやアニメの主題歌、童謡、フォークソングなど全16曲を熱唱。美しいハーモニー、仲睦まじいエピソードを披露してくださり、会場内は温かい空気に包まれました。

おふたりのお人柄がお客様にも伝わり、障害がある方もない方も、年代を超えて楽しんでいただけるコンサートとなりました。

ご来場いただいたみなさま、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。



姉妹展

パンフラワー&手織り

平成30年2月28日(水)~3月24日(土)
社会福祉法人愛光 本館 2F/322-6 (休:2.29)



GALLERY AIKOH

南部地域福祉センターB棟1階
社会福祉法人愛光本館エントランスホール
平成29年11月~平成30年4月
展示作品



千葉県立千葉盲学校 ふれあい作品展

2017.11.6 ~ 2018.1.8
南部地域福祉センター B棟1階 2F/322-6
社会福祉法人愛光 本館1階1F/322-4
月~土 9:00~17:00

ほほえみ作品展

佐倉市内小中学校特別支援学級児童生徒

南部地域福祉センターB棟 1階

平成30年2月13日(火)~2月28日(水)



第2回 水彩・グッチ作品展

2018年2月27日(土) ~ 3月1日(水) 13:00~15:00



ボランティア募集

あなたのところをお貸しください。

なんとなく誰かのためになりたい。 ちょっといいことをしてみたい。

高齢者や障害者とは接したことないけど、どんなボランティアをしているのか気になる。
愛光でボランティアを長年してくださっている方もたくさんいらっしゃいます。自分に合った無理のない範囲でお力をお貸しください。経験のないかたも大歓迎です。

クリエイティブワークのお手伝い

月曜～金曜 9:30～11:30 13:00～14:30

障害者支援施設の日中活動のお手伝いです。
人と関わるのが好きな方、趣味を生かしたい方、大募集です！

- 農耕班：堆肥・野菜づくりの補助
- 園芸班：花栽培（インパチェンス・ビオラ・ペチュニアなど）補助
- 受注班：内職の検品（マグネット組立・箸入れなど）
- 手工芸班：さわり織りの作品づくり
- 創作班：牛乳パック～紙製品づくりの補助

はちす苑

行事サポート
納涼祭や敬老会、
音楽の時間にサポート
してくださる方大募集！

児童センター

保育補助
本の読み聞かせ
施設内の草取り等
将棋や遊びの相手

その他

こども食堂運営のサポート
毎月第4金曜開催中
※詳細は、南部児童センターまで

障害者支援施設での活動

- 視覚障害をお持ちの利用者さんと散歩
(施設内・周辺散策)
- 視覚・身体障害をお持ちの利用者さんの傾聴
(お話好きな方々です)
- 衣類補修・雑巾縫い・館内窓ふき・車いすの清掃
買い物の付き添い(近隣のコンビニへ)

ボランティア交流会・感謝のつどい



昨年度は特養「はちす苑」にてJAZZ&珈琲の演奏、BGMの中、日頃お世話になっているみなさまと職員がつどいました。

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先： 月～金 9:00～16:00 電話：043-484-6398 愛光福祉相談室 小平 純子
または、火～日 9:00～17:00 電話：043-486-5151 南部地域福祉センター 横川 民夫

愛光パンフレットWEBで公開中！！



愛光を紹介するパンフレットが大幅リニューアルしました！
インターネット上で公開していますので、是非一度ご覧下さい。

<アクセス方法>

こちらのQRコードを読み込むか、

AIKOH VISION BOOK

検索

で検索



<編集後記>

新年度がスタートしました。今年度もより良い広報誌をお届けできるよう、委員一同頑張っていきます。

【編集委員】川上昇平(総務部) / 角田絵友(ルミエール) / 内山春香(めいわ) / 佐藤友里恵(リホープ)
並木美帆(はちす苑) / 平野美幸(根郷学童) / 椎名豊(ワークショップかぶらぎ)